

WA12 MKII BLACK

DISCRETE MICROPHONE PREAMPLIFIER W/ DI



取扱説明書 Ver1.0



安全上の注意

1. 本製品を操作する前に、安全および操作のすべての注意事項をお読みください。
2. 本マニュアルは将来の参照のために保管してください。
3. 装置およびマニュアルに記載されたすべての警告に従ってください。
4. 操作および使用の注意事項に従ってください。
5. 湿った地下室やプールの近くなど、水や湿気の近くで装置を使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または他の発熱装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
8. 電源プラグの極性または接地プラグを改造、変更しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。
10. 雷雨の間や長期間使用しない場合は、装置のプラグを抜いてください。
11. すべての修理は販売元に依頼してください。

装置が次のような損傷を受けた場合、修理が必要です。

電源コードやプラグが損傷した場合、液体がこぼれた場合、物が装置に落ちた場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合。

はじめに

Warm Audio WA12 MKII マイクプリアンプ/DI をご購入いただき、ありがとうございます。
本製品は、クラシックなアナログ録音の時代から受け継がれた音質、機能、雰囲気の面で最高のパフォーマンスを提供すると考えています。私たちは製品に妥協をせず、WA12 MKII もその例外ではありません。このプリアンプには、CineMag Transformers USA 製の高品質なカスタム入力および出力トランスを使用し、すべてディスクリート信号経路を採用しています。また、PCB（プリント基板）には大型のスルーホール部品のみを用い、手作業で組み立てられています。

イントロダクション

WA12 MKII は、クラシックなコンソール設計において最も成功した、象徴的なプリアンプを参考にした製品です。このディスクリート・マイクプリアンプを手頃な価格で提供しつつ、そのプリアンプの魅力を引き出すパラメーターや特性を一切妥協せず再現することを目指しました。

MKII バージョンでは、最初の製品に対する大切な顧客からのフィードバックを反映し、より価値ある製品をお届けするべく、メーターや出力トリムコントロール（チャンネルフェーダー）を追加し、ディスクリート・オペアンプはソケット対応となり、 $\pm 16V$ 、2520 スタイルのピン配列に準拠する任意のオペアンプと簡単に交換が可能です。品質、設計、音質特性には他の変更は加えていないため、このユニットはクラシックな WA12 または WA12-500 ユニットと音響的に完璧にマッチします。

動作環境

WA12 MKII はディスクリート・ハイゲイン・マイクプリアンプとして、ダイナミックマイク、リボンマイク、コンデンサーマイクなど、あらゆるタイプのマイクに対応します。ダイナミックマイクとリボンマイクは通常、出力が低く外部電源を必要としません。一方、コンデンサーマイクは一般的にダイナミックマイクより感度が高く、外部 +48V のファンタム電源が必要です。さらに、WA12 MKII は内蔵のアクティブインストゥルメント DI により、さまざまな楽器との相性も良好です。

主な特徴

WA12 MKII は、完全ディスクリット構造で高電圧対応のデュアルトランス・マイク・プリアンプとして設計され、ハイゲイン (+71dB)、高ヘッドルーム、低ノイズ、豊かな音質を実現し、あらゆる録音用途に最適です。高品質のマイクプリアンプは、求められる「迫力あるサウンド」を実現するために欠かせない重要な要素であり、WA12 MKII はその期待に応えます。

WA12 MKII には、ヘッドルームが大きいカスタムワウンドの大型マイク入力トランスと、CineMag Transformers USA 製のライン出力トランスが搭載されています。ディスクリットオペアンプ X731 を基盤とし、ビンテージの Melcor 1731 (モダンな 2520 スタイルオペアンプの暖かみある前身とされる) を忠実に再現しました。X731 は、鮮やかでクリアかつリアルな音色を出力し、ハイゲイン時には穏やかなサチュレーションも得られます。効果は控えめながらも非常に心地よい仕上がりです。また、WA12 MKII は、+/-16V、2520 ピン配列に準拠した任意のディスクリットオペアンプにも対応可能です。

各部の名称

フロントパネル



1. Hi-Z インプット

フロントパネルのフォン入力には、アクティブ・ディスクリット DI 回路が搭載されており、楽器の信号をプリアンプ回路全体（入力トランス、ディスクリットオペアンプ、出力トランスを含む）に通します。この Hi-Z 信号経路の綿密な設計により、楽器にもマイクと同等の強力なプリアンプ効果が得られます。WA12 MKII のフロントパネルの Hi-Z 入力には、ピックアップ付きアコースティックギター、エレキギター、ベースギター、キーボード、サンプラー、シンセモジュール、ドラムマシンなど、さまざまな楽器を接続可能です。

2. Hi-Z スイッチ

この機能により、フロントパネルのフォン入力が無効になり、バックパネルの XLR 入力が無効になります。

3. +48V ファンタム電源

ファンタム電源が必要なコンデンサーマイクを最適な性能で使用できます。

4. -20dB PAD スイッチ

この機能を有効にすると、入力信号に-20dB が適用されます。WA12 MkII に入力されるレベルを下げ、信号のクリッピングや歪みを防ぐために非常に役立ちます。マイクや他のデバイスから高出力レベルを受け取る場合に使用してください。入力を減衰させて、操作に必要な「ヘッドルーム」が増え、信号過負荷の可能性が減少します。

5. POL スイッチ

マイク入力信号の位相を反転します。スネアドラムの上下に配置したマイクや、オープンバックギターキャビネットの前後に置いたマイクなど、録音環境で「対向する」マイクの位相を揃える際に便利です。



6. トーンスイッチ

入力トランスの設定を 1:4 からより急な 1:8 に切り替え、入力トランスとディスクリートオペアンプの双方から一層のカラーとインパクトを引き出します。スイッチがオンの時、WA12 MkII の入力インピーダンスは 150Ω、オフの時は 600Ω になります。150Ω（オン）設定では、WA12 MkII のゲインが+6dB 増加し、最大ゲインが+65dB から+71dB に変わります。すべての入力ソースが該当コンポーネントを通過し、マイクや楽器に明確な音色の変化をもたらします。600Ω 設定はコンデンサーおよびダイナミックマイクに、150Ω 設定はリボンマイクに最適です。多くのリスナーは通常設定をよりオープンでナチュラルと感じ、オン設定ではパンチがあり、アグレッシブまたは厚みのある音と感じられるでしょう。すべてのソースで両設定を試し、最適な音色を見つけてください。

7. GAIN ノブ

ゲインコントロールは可変式で、WA12 MkII のゲインを+29dB から+65dB まで、または「TONE」スイッチがオンの場合は+35dB から+71dB まで調整します。「PAD」機能をオンにすると、最小および最大範囲が-20dB 下がります。

8. OUTPUT ノブ

「チャンネルフェーダー」として機能し、出力信号をスムーズに減衰させます。プリアンプの音作りに非常に役立ちます。たとえば、高いゲインと低い出力の組み合わせは、よりオーバードライブが強調され、倍音豊かなサウンドを生み出す傾向があります。一方で、低いゲインと高い出力の組み合わせは、よりオープンでダイナミック、クリーンで明瞭な音を生み出します。どの設定を使用するかは、耳と芸術的なセンスを頼りに状況に応じて選択してください。

9. メーターディスプレイ

LED メーターは WA12 MkII のゲインレベルを表示し、ピークレベルの動きを監視し、安全な録音レベルを確保するための有用なツールです。

10. 電源ボタン

ユニットの電源をオンおよびオフにします。電子機器の寿命を延ばすため、使用しないときは電源をオフにしてください。

バックパネル



1. XLR & TRS バランス出力

出力は、XLR コネクタおよび TRS フォンコネクタを通じて提供されます。アンバランス接続の場合は、TS フォンケーブルを使用してください。最良の結果を得るために、同時には使用せず、どちらか片方の出力のみを使用してください。

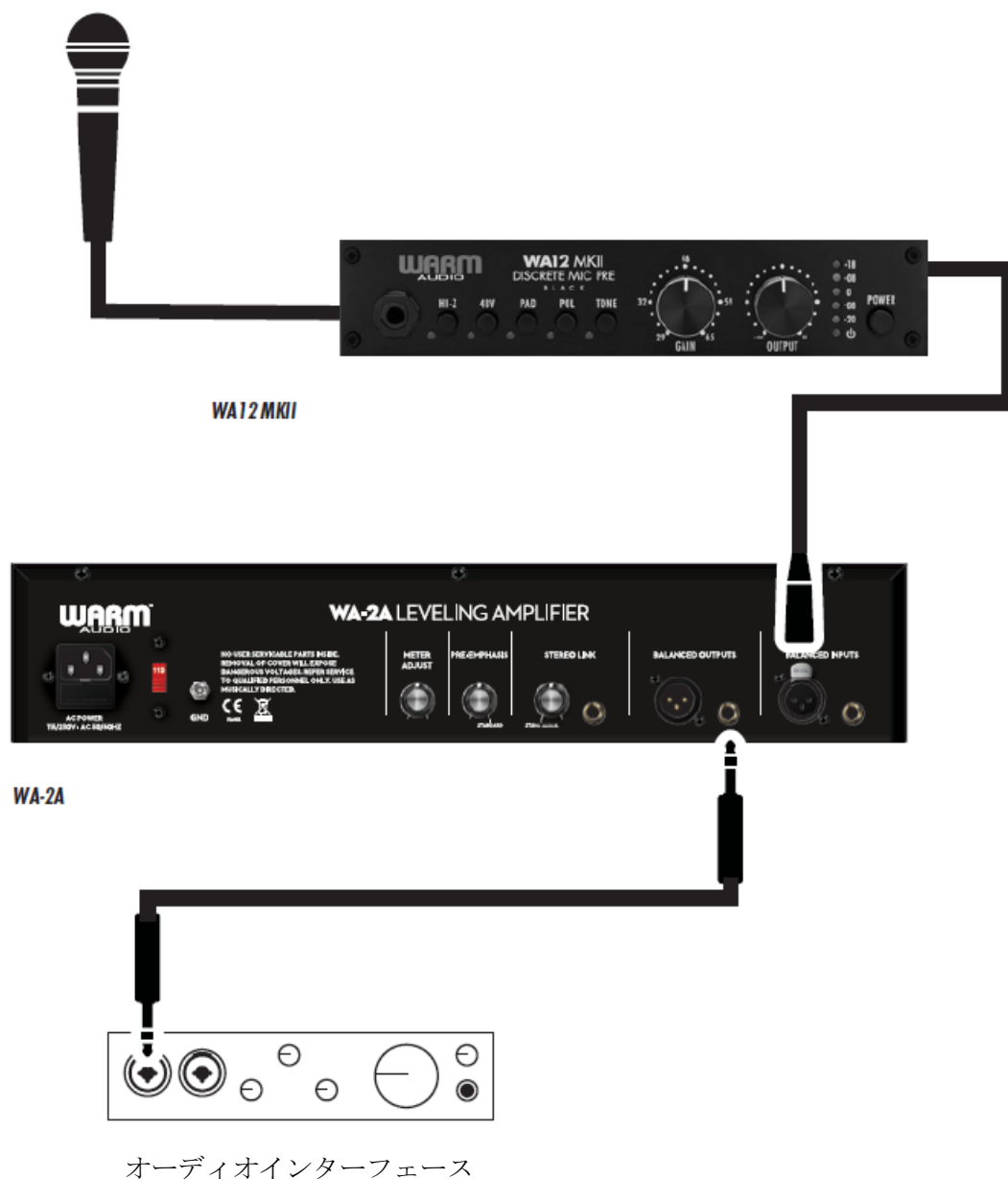
2. マイク入力

マイクやマイクレベル信号は、背面の XLR コネクタを介して接続できます。

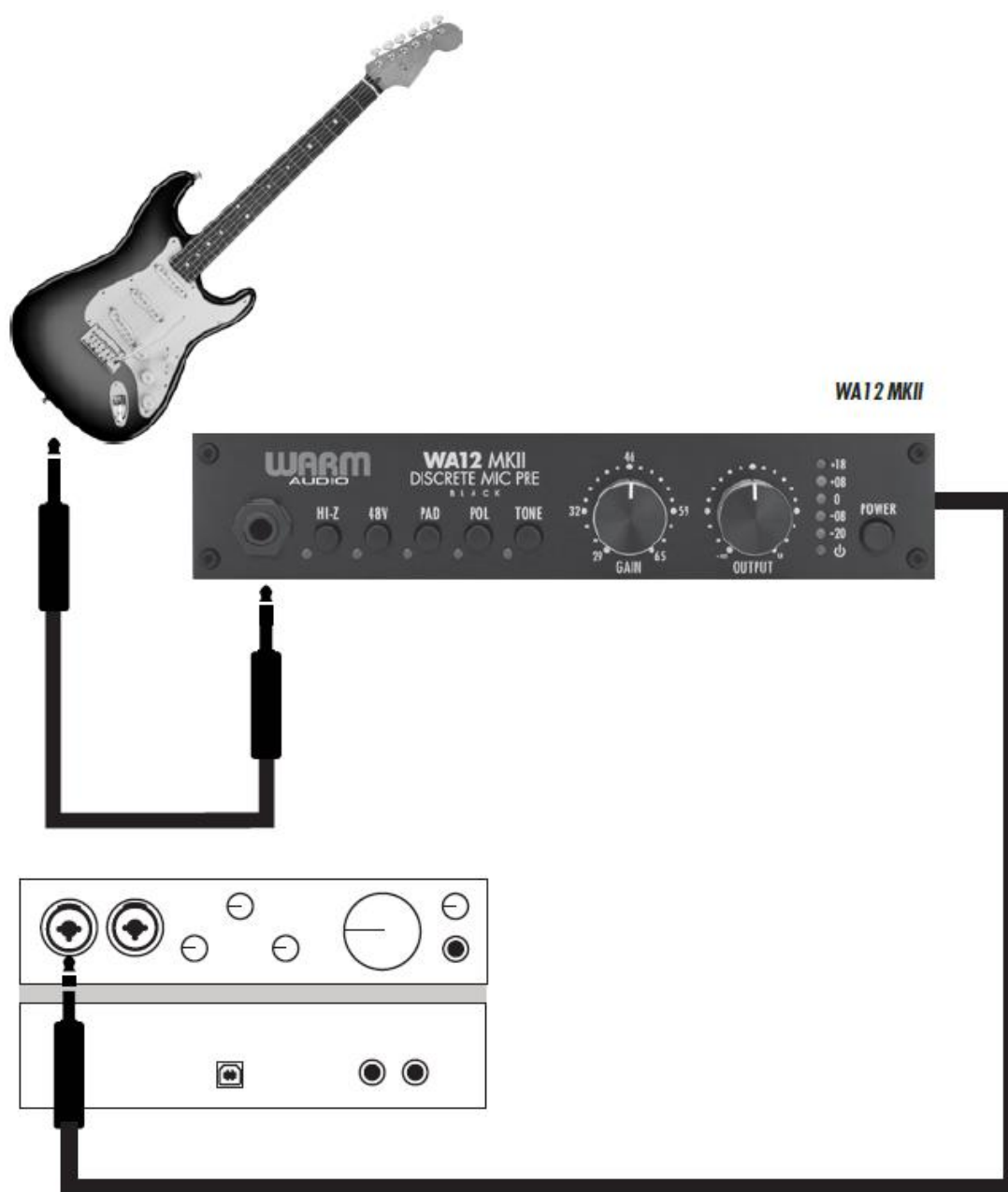
3. IEC AC 電源入力

付属の電源コードを IEC AC 電源入力に接続してください。完全に電源を切る場合は、電源コードを WA12 MKII ユニットから取り外してください。

接続



この図では、WA12 MKII をマイクプリアンプとして使用し、マイク信号を取り込みます。その後、信号は WA-2A コンプレッサーに送られ、WA-2A を通過した後にオーディオインターフェースへ入力されます。



この図では、WA12 MKII をアクティブ楽器 DI として使用し、エレキギターの信号を取り込み、オーディオインターフェイスに送ります。

注意

オーディオインターフェイスにはマイク入力や楽器入力ではなく、ラインレベル入力を使用してください。

仕様

- 高品質な米国製 CineMag トランスを使用（入力および出力）
- 最大 71dB のゲインを提供する完全ディスクリート信号パス
- ディスクリート構造のソケット型 1731 スタイルオペアンプを採用。
他の 6 ピン「2520 フットプリント」オペアンプと交換可能で、トーンやサウンド
を変化可能
- TONE ボタン - 入力インピーダンスを 600Ω から 150Ω に切り替え可能。
マイク入力と Hi-Z 入力の音質を変更
- フロントパネルに 2MΩ の True Hi-Z 入力を搭載。楽器信号を CineMag トランス
とディスクリートオペアンプを含む全回路に送る設計。ギター、ベース、キーボー
ド、その他フォン出力端子を持つ楽器に最適
- マイクレベルバランス入力：XLR
- バランス出力：XLR および TRS フォン端子
- +48V ファンタム電源対応
- + LED メーターゲイン表示
- + 20dB パッド
- IEC 電源プラグ対応